

日本スポーツクラブ協会 学校運動部活動指導士の養成

公益財団法人日本スポーツクラブ協会
古田洋一



日本スポーツクラブ協会とは

体操競技オリンピックの小野喬氏(元鹿屋体育大学教授)と故小野清子氏(内閣府特命担当大臣・青少年育成他)が1977年に設立した財団法人を礎とする公益財団法人。(2010年に公益財団法人認可)

誰もがスポーツを楽しめる生涯スポーツ社会の実現を目指し、各スポーツクラブのサポート、国民の健康体力づくり支援、各種スポーツ・運動指導者を養成しています。




小野喬氏



故小野清子氏



理事長 野川春夫




指導者の課題

- 指導者の確保、育成(教員に頼らない指導体制)
- 指導者の質の担保
- 現職教員の兼業、兼職の許可問題


- 学校と部活をつなぐ人材

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言(令和4年6月6日)
友添秀則 2022.9.18 学校運動部活動指導士養成講習会




日本スポーツクラブ協会の目指す 学校運動部活動指導士(中学生年代)

1. 運動部活動の指導が出来る地域スポーツ指導者
2. 運動部活動と地域スポーツクラブとの円滑な連携に資する指導者
3. スポーツライフスタイル形成をふまえた指導が出来る指導者
4. 中学生主体のアプローチが出来る指導者
5. 多様目(マルチスポーツ)及びシーズンスポーツの指導に対応できる指導者
6. 学校に関する関連法規に精通した指導者
7. 初心者・初級者をスポーツに誘える指導者



カリキュラム


1. 指導対象となる中学生年代の生徒のこころと身体の発育発達、いじめ、ハラスメントに関する知識と実践力(対応力)の習得
2. スポーツ・運動の技術指導力(特に初級指導力)を支えるスポーツ科学領域の基礎知識及び応用知識の習得
3. 学校教育関連、スポーツ関連法規等の知識の習得
4. 部活動指導員としての職務分掌関連知識の習得
5. 部活動に関わるステークホルダーとの連携協力



部活動指導員ハンドブック

<内容> Q&A形式
部活動の意義と活動方針/法律関連/中学生のこころと身体/いじめ・ハラスメントへの対応/部活動指導者の身分・位置づけ/部活動指導員の職務/マネジメント活動計画

- 岡田美則氏: 日本体育大学スポーツ文化学部長、日本スポーツ教育学会副会長
- 曾原洋一氏: 大田スポーツコミッション理事、元東京都大田区立中学校校長
- 友添秀則氏: 『運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン』作成検討会議議長、(運動部活動の地域移行に関する検討会議)議長、スポーツ庁スポーツ審議会委員
- 秋裕美子氏: 東海大学教授、スポーツ庁スポーツ審議会健康スポーツ部会委員、元鹿屋体育大学教授
- 日比野幹生氏: 日本体育大学スポーツマネジメント学部長、元スポーツ庁競技スポーツ課専門官
- 舟木泰世氏: 尚美学園大学専任講師、元スポーツ庁健康スポーツ課係長、鹿屋体育大学非常勤講師



開催実績

1回	2回
2022年2月18日(金) ～21日(日)	2022年9月18日(金) ～21日(日)
会場 オリンピック記念青少年総合センター会議室	会場 駒沢オリンピック公園陸上競技場会議室
参加者 13名	参加者 17名
参加者の所属 総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進員、 大学教員、スポーツ指導事業者	参加者の所属 総合型地域スポーツクラブ、市区町村体育協 会、単一種目クラブ



第2回学校運動部活動指導士養成講習会 科目と講師

科目	講師	所属
生活を豊かにする部活動指導の倫理・理念と指導者の役割	友添 秀則	日本学校体育研究連合会
運動学習理論(段階的指導法)・振り返り	岡田 美則	日本体育大学
生徒の自主性を育む目標設定と練習計画の立案	岡田 美則	日本体育大学
スポーツ指導法(初心者・初級者指導のコツ)	堀越 淳二	国士館大学
部活動指導員の職務と部活動の組織運営	日比野 幹生	日本体育大学
学校と運動部活動	曾原 洋一	大田スポーツコミッション
部活動の組織運営とステークホルダーマネジメント	高田 健秀	ヒポッドフット
(総合型) 地域スポーツクラブと運動部活動(事例発表)	川西 正志	北翔大学
コーチングの心理学(モチベーション)	岩崎 由緒	高栄SFLP
安全確保と成長期におけるケガ等の緊急処置	曾田 哲由	了徳寺大学
コーチング・オン・レーニングの理論と実践	東原 明人	コーチングバリュー協会
中学生年代の体力トレーニング法	杉田 正明	日本体育大学
中学生年代における性差とスポーツ指導法	門尾 悠香	順天堂大学
カウンセリングマインド/アンダーコントロール	森盛 美穂子	日本女子体育大学
チームビルディング	赤地 幸幸	日本女子体育大学
! 個性を育むチームづくりとリーダーシップ	赤地 幸幸	日本女子体育大学
スポーツの社会化/ドロップアウト(配慮)	山口泰雄	流通科学大学
学校スポーツ施設・設備・用具の安全管理(配慮)	瀬戸口拓朗	セノー株式会社
中学生年代に必要なスポーツ栄養学(配慮)	長船夫夫子	KAGG数スポーツ

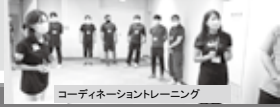
受講者のコメント1

佐賀県 Kさん 男性 60歳代

今回この講習会に参加して、すべての講義が自分にとっては大変新鮮で、まさに「目から鱗が落ちる」という感じでした。友添先生が言われた「指導倫理」というのは大事なということを感じました。先生のお話の中に「自転車に乗せる時間に乗せる」という言葉があり、貴重な高校生の年代に部活漬けにはいけないと改めて感じました。今高校生を指導していますが、これからも、学習(勉強)の大切さ部活動の大切さとの両立をあらためて指導していきたいと思ひます。

山形県 Oさん 男性 20歳代

指導者においては正しい知識を身に付け、勝利至上主義にはならず安全で安心な練習環境と子ども達に「楽しさ」や「嬉しさ」を感じてもらえるような場を提供していくことが役割であり目指していくべき姿だということを感じました。



コーディネーショントレーニング

受講者のコメント2

宮城県 Kさん 男性 60歳代

今回講習会に参加し、これまで私自身が経験則を基に指導を行ってきたことに対し、時代の要請に応えた新しい考え方や指導法の転換を学ぶことができ、目から鱗が落ちました。自分の指導法が如何に旧式であったか反省させられました。また、講師の先生方は第一線で活躍されている方であり、エビデンスがしっかりしているだけではなく、常に新しいものを追い求めていることが、講義内容からも伝わりました。私にとっては講習にかかった経費以上の収穫がありました。ありがとうございました。

京都府 Iさん 女性 30歳代

たくさん先生のお話を聞いていると自分の中で比べてしまう部分もあり、でもそれが逆に生徒と同じ気持ちになれたことも大きな学びになりました。この先生の授業楽しい、面白い、わかりやすい、もう一度聞いてみたいとそんな思いになれる講師の先生もたくさんおられました。もちろん理論的な話も大切で、すぐにも活用できる知識もたくさんあり、何度も読み返して絶対身に着けようと思ひました。



岡出英剛先生

生涯スポーツ社会の実現を目指して

- ◆ 楽しみ、楽しさを伝える指導者の養成
- ◆ レベル別のスポーツ指導の展開
- ◆ あらゆるハラスメントの根絶

学校運動部活動指導士養成講習会 今後の開催予定

1. 2023年3月9日(金)～12日(日)
駒沢オリンピック公園陸上競技場会議室
2. 2023年7月
オリンピック記念青少年総合センター
3. 2023年10月
オリンピック記念青少年総合センター



<https://jsca21.or.jp/qualification/leader07>
詳細はWEB A サイトにて確認ください